

# れんけい君

発行元：地域医療連携室

## インフルエンザの話

小児科部長 野口 正



毎年秋から冬にかけて、程度の差こそあれども必ずインフルエンザは流行します。

インフルエンザとはインフルエンザウイルスによる感染症です。インフルエンザウイルスに感染した1-3日後に高い発熱で発症し、咳や鼻水、頭痛、関節痛、腹痛下痢などの消化器症状を伴うことがあります。一般的には3日から7日間発熱が続きその後に自然回復しますが、小児ではごくまれに脳症を合併します。成人では肺炎の合併があります。

インフルエンザの診断に一番大事なものは問診です。インフルエンザは必ず人から人へ感染し、しかも潜伏期間が短く感染力が強いのですが、感染する距離はせいぜい2m程度と近距離にしか感染しません。したがって学校の同級生、職場の同僚あるいは家族がほぼ同時期に次々と発熱していればインフルエンザが強く疑われます。逆に保育園にも行っていない乳児で家族内にも発熱者がいない場合など、インフルエンザは考えにくくなります。

よく、インフルエンザは検査しないと診断できないと思われていますが、大部分の場合は詳しく問診を取ることによって診断できます。実際日本以外の世界各国でインフルエンザの検査が行われることはほとんどありません。むしろ検査のほうが正確な結果が出ないことが多々ありますので、インフルエンザの診断は問診と身体所見を中心に、検査は「判断に迷った場合の参考のためのもの」位の認識のほうが良いでしょう。

日本以外の世界各国ではインフルエンザは自然治癒する病気と認識されており、抗インフルエンザ薬はほとんど使用されません。抗インフルエンザ薬は早期解熱には有効ですが、重症化を予防できるか否かについては意見が分かれていて、少なくとも小児の脳症予防効果はないようです。抗インフルエンザ薬は1日か2日早く解

### 『かかりつけ医』をもちましょう！

紹介状があれば以下のようなメリットがあります

- 初診にかかる選定療養費(2,100円)が不要です。
- 事前に受診予約ができます。
- 病気の経過や服用中のお薬が判るので治療や診断に役立ち、検査やお薬の重複が防げます。

一般内科・消化器内科および歯科口腔外科の初診は、他院からの紹介状が必要となります。

その他の診療科については、紹介状がなくても診察いたします。

ただし、かかりつけ医がある場合は可能なかぎり紹介状をお持ち下さい。

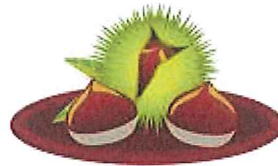
国家公務員共済組合連合会

舞鶴共済病院

〒625-8585

京都府舞鶴市字浜 1035 番地

TEL 0773-62-2510 《代表》



熱するための薬と理解して下さい。

重症化のサインは、意識がおかしい、痙攣する、呼吸が苦しい、咳き込んで眠れない、水分も取れないなどで。このような場合は早期に受診してください。

インフルエンザの流行期に発熱すると重症化をおそれてあわてて救急外来にこられる方が多くあります。一旦感染してしまった場合に確実に重症化を予防できる方法はありません。事前に予防接種を受けておくことだけが、重症化の予防になるといわれています。

毎年秋から冬にかけて、程度の差こそあれども必ずインフルエンザは流行するのです。



### 予防の基本は、ワクチンと手洗い

- 12月中旬までになるべく予防接種を受けておくこと
- 建物の中に入ったとき、入社時、帰宅時、調理前、食事前に手洗いをする。



### セキをするエチケット

- 他人から1メートル以上離れ、顔をそむけて、ティッシュなどで口と鼻をおさえる。
- 使用したティッシュはすぐにふた付きのゴミ箱に捨てるか、ビニール袋にいれて口をしぼる。
- 症状があるときは、マスクを正しくつける。(マスクをしないでセキをすると、ウィルスを含んだ飛沫が周辺2メートルに飛び散ります)

